

まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「活力」「協働」》ニュース

日時：平成 29 年 1 月 26 日(木)19:30～21:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
「活力」「協働」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「活力」「協働」のワークショップには、13人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回分野別「活力」「協働」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「活力」「協働」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「活力」「協働」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「活力」「協働」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができることを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「活力」「協働」分野における加東市の将来像と市民ができること) Aグループ

「活力」等の将来像と市民ができること

【山田錦・ブランド】

<将来像>

- 加東市産の農産物がブランド化している
- 加東の山田錦のブランドが確立（生産調整の関係）
- ブランドがたくさんある
- 山田錦が世界的に知られるようになる「Yamadani shiki」
- 新たな特産品がうまれている

<市民ができること、やるべきこと>

- 新作グルメコンクールを開催し商品化する
- 加東市産山田錦使用品に限る日本酒を愛飲する

【自然】

<将来像>

- 自然と動物、人・まちが共存しているまち
- 自然で子どもがたくさん遊ぶまち
- 親子でたくさん遊びに来るまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 地元民のみが知る、昔からある穴場での遊び方を紹介する

【観光】

<将来像>

- 立ち寄りがしたくなるまち
- 全国的に知られる観光地があるまち
- 観光・特産で知名度が向上しているまち
- 大阪から近く外国人に人気の観光地にする

<市民ができること、やるべきこと>

- トイレや道端等での清潔感を意識する

「活力」等の将来像と市民ができること

【雇用】

＜将来像＞

- 雇用が多いまち
- 空き家を活用するまち
- 今以上に大企業が増え、市民税が減額されるまち

【産業】

＜将来像＞

- 休耕田がなくなっている
- 後継者不足を解消し、休耕田が活用できているまち
- 新規産業が創出しているまち
- 加東市にあって他市にない産業を育てるまち
- ニッチ産業で国内シェア100%の製造業者があるまち

「協働」等の将来像と市民ができること

【情報発信】

＜将来像＞

- 市民主導で市のPRをしていけるまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- SNSでPRする（アンバサダー）
- Facebook等、SNSで情報発信する
- SNS等で、いい店、いい場所の情報発信をする
- テレビ・ラジオ等への投稿（まちの情報等）

【市民主体の活動】

＜将来像＞

- ボランティアなど住民の自発的な活動ができているまち
- 色々な市民の方々が得意分野を活かせるまち
- ボランティアグループと行政の協働でコミュニティが広がるまち
- 市民主導の全市的なイベント等が開かれるまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- イベントに積極的に足を運んでみる
- 委員などに参加する
- ビジョン委員会との協働をすすめる



「協働」等の将来像と市民ができること

【コミュニティ・コミュニケーション】

＜将来像＞

- いじめゼロのまち
- 移住者にも優しいなど他を受け入れやすいまち
- オープンで親しみやすいまち welcome !
- 外国の方が住みやすいまち
- 開かれた明るいコミュニティが多くあるまち
- 学校や企業、行政で連携しているまち
- 教育行政と民間教育機関との連携ができるまち

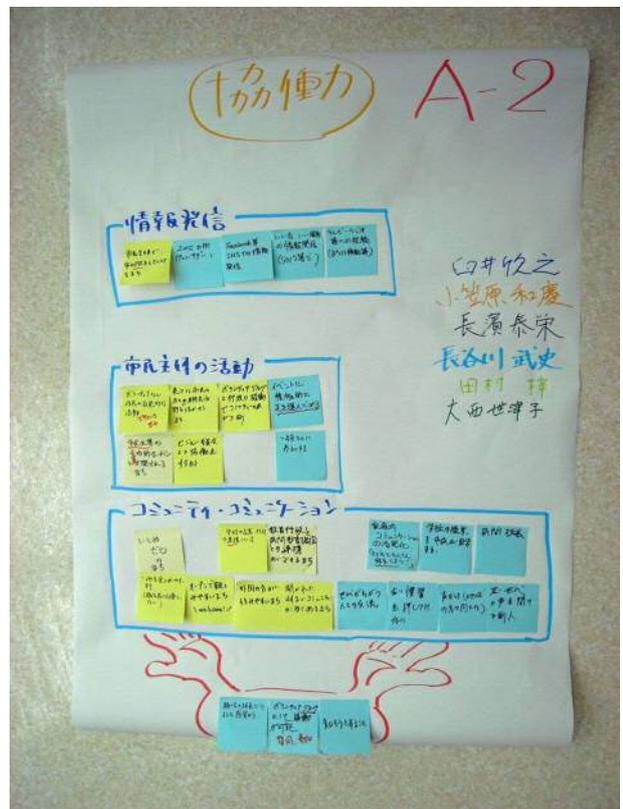
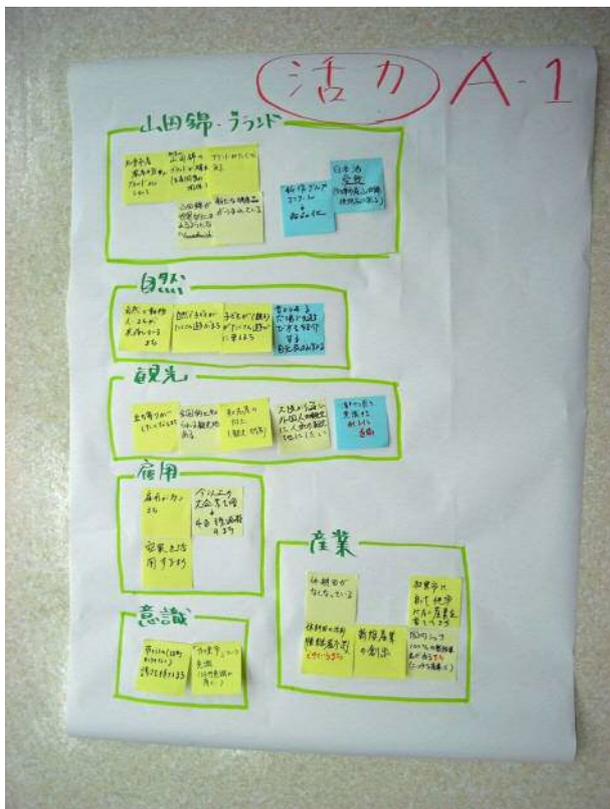
＜市民ができること、やるべきこと＞

- 家庭内のコミュニケーションの活発化「子どもとたくさん話をしよう！」
- 学校の授業を市民が見学する
- 民間校長をむかえる
- 世代がちがう人との交流
- 古い習慣を押しつけない
- 地域の方々同士の声かけ
- 若い世代の声を聞ける「まち人」になる

【全体】

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 趣味の延長という感覚から行動する
- ボランティアグループとして協働、賛同、参加する
- 知ろうとする



B グループ

「活力」等の将来像と市民ができること

【まちの魅力】

<将来像>

- 魅力を発見できるまち
- 「おいしい」を伝える（発信する）まち
→「おいしい」＝「美味しい」「良いことがある」
- 今ある産業を大切につなげていきつつ、新しいことにチャレンジできるまち
- 市民がいきいきと活躍し、大好きだと思えるまち
- みんなが住みやすく大切にしたいくなるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 自分で産業を起こす
- 市民の愛着を育む
- SNSなどで市民が「良さ」をアピール
- 市民が情報発信（観光ボランティア等）
- 身の回りのことに興味を持つ（交流や発見につながる）
- （とりあえず）動く

【農業】

<将来像>

- 農業体験ができるまち
- 農業の多様化（ポスト山田錦、例えばやしらの桃）
- 山田錦プラスアルファをPRして観光にも来てもらえるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 体験に参加する
- 地産地消

【自然を活かした憩い】

<将来像>

- 自然を活かしたまち
→スポーツ（アスレチック）やリゾート別荘
- 別荘体験ができるまち
- いこいのまち（温泉、ゴルフ、釣り、山歩き、おもちゃ王国）
- ホタルのまち
- 山を利用して健康増進できるまち
- 水辺で出会い、くつろげるまち
- 釣り針のまち（釣り針の生産、釣り場としてのため池の活用）

【文化産業】

<将来像>

- 玉岡かおるさんに忠臣蔵を作ってもらおう（小説）
- 文化の活用（NHK大河ドラマで玉岡忠臣蔵）
- 本を活かしたまち（図書館で本の貸出件数が多い）
- 「加東四国88ヶ所巡り」の復活

「活力」等の将来像と市民ができること

【活力創造の環境（活かす特性）】

<将来像>

- 産業都市（大阪、神戸に近い）
- 雇用の確保（広域利便性は良いが、市内の交通の便が悪い）
- 交通の要所
 - 交流拠点（行くにも、集うにも）
- 交通の便を活かして観光に来てもらえるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 学校で学ぶ（歴史、産業、特産品など／子どもから大学生まで）

「協働」等の将来像と市民ができること

【交流】

<将来像>

- 世代を超えた交流が生まれるまち
- いろいろな人が交流できるイベント（フェス）があるまち
- 地区における行事や日常のつながり
- 市民が何かを作りあげることができるまち
- 企業との交流
- 市内で交流（地区や寺社で交流）

<市民ができること、やるべきこと>

- 市役所や議員と対話して理想を追求する
- 自分が加東市のために何ができるかを考え、行動する

【イベント企画】

<将来像>

- 市民がつくるイベント
 - マンネリからの脱却

<市民ができること、やるべきこと>

- イベントをする

【学生等】

<将来像>

- 学生ボランティアがさかんなまち
- 加東市以外のところからきた学生と加東市の人とが交流できるまち
- 商店街のチャレンジショップ

<市民ができること、やるべきこと>

- 加東市のいいところ、いいものをSNSで発信
- 学生による商店街のチャレンジショップの運営
- 商店街など市民が市内の商店を積極的に利用

「協働」等の将来像と市民ができること

【コミュニティ等】

＜将来像＞

- 趣味を楽しみ、お互いを認めあえるまち
- ふれあい事業とのコラボ
- 近隣の人々と友好をつくるまち
- 結びつきを大事にするまち（多くのコミュニティにて）
- 教育のまち（みんなで子どもを育てる）
- ダイバーシティを大切にすまち
- 弱者を守るまち

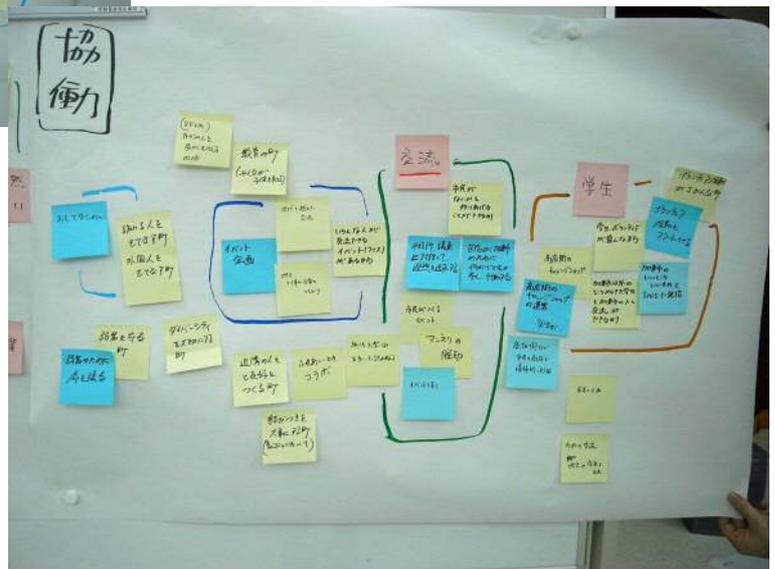
＜市民ができること、やるべきこと＞

- 弱者のために命を張る

【おもてなし】

＜将来像＞

- 訪れる人をもてなすまち
- 外国人をもてなすまち
- （四国 88ヶ所巡りで）外からの人を温かくむかえるまち



◆次回(第2回全体ワークショップ)の予定

日時：平成29年2月4日(土)13:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：分野毎の将来像(まちづくりの目標)を踏まえて、加東市全体の将来像を考える

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp